

【研究費区分】：若手研究者独立基盤形成支援枠

【所属】：人文社会学部 人文学科 中国文化論教室

【氏名】：佐藤 賢

【氏名フリガナ】：サトウ ケン

【職】：准教授

【研究課題名】：中国インディペンデント・ドキュメンタリー映画の創作と批評の相互関係に関する研究

【研究実績の概要】

- ・ドキュメンタリー映画の批評に関する資料の収集と整理および研究を進め、その知見から映画監督・王兵に関する書籍の書評「歴史的、いや、あまりに映画的な」（『図書新聞』3455号）を執筆した。
- ・中国映像文化論研究会（2021年1月8日オンライン開催、講演者と題目：丸川哲史「東アジア映画と土地改革」）を開催し、映画および映画批評に関する知見を深めるとともに研究グループの形成を図った。
- ・映画上映を含む研究会を開催するための研究室の環境整備を進め、上記研究会を実施した。

【本支援を用いた研究基盤整備の達成状況について】

- ・図書・映像資料などの研究資料の購入、パソコン、プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどの研究機材の購入を進め、研究基盤を整備することができた。
- ・所属する中国文化論教室の演習室にウェブ会議システム・音響システムなどの設備を導入し、映画上映を含む研究会および国際ワークショップを円滑に開催するための環境を整備することができた。



整備前



整備後①



整備後②

【本支援を用いた具体的な研究グループの形成について】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大にともなう海外渡航制限のため、中国から映画監督および研究協力者を招請することができなかったが、Zoom や SNS などを活用し、研究グループ形成に向けて交流を続けた。
- ・丸川哲史氏（明治大学大学院教養デザイン研究科教授）らと中国映像文化論研究会を立ち上げ、研究グループの形成を図った。
- ・中国のドキュメンタリー映画監督のネットワーク形成において重要な役割を果たしている山形国際ドキュメンタリー映画祭東京事務局との関係構築を図った。